



Let's become a wonderful past for the future



本資料は、EP-Cryo389の加工用途向け、運用条件および特性をまとめた資料です。



EP-Cryo389は、多様な研削加工に対応し 推奨倍率で高精度を実現する信頼性の高いソリューションです。

多様な対応加工



EP-Cryo389は、平面研削、円筒研削、内面研削など、多様な研削加工方式に対応しています。これにより幅広い加工ニーズに応えます。

推奨倍数での高精度



推奨使用倍率は、平面研削で10～50倍、円筒研削で10～40倍を提案。これにより、安定した寸法精度を実現します。

信頼の寸法精度



EP-Cryo389を使用することで、各種研削加工で一貫した寸法精度が達成でき、製品品質の向上につながります。

高精度な平面研削加工を実現する EP-Cryo389 の特性と推奨使用条件を紹介します。

■ 高精度の維持

EP-Cryo389は、一般的な面粗度を保ちながらも、優れた寸法精度を確保できます。これにより、加工後の製品品質が大幅に向上します。

■ 推奨使用条件

平面研削時の推奨使用倍率は10～50倍です。この範囲が使用されることで、安定した加工状況が得られ、工具の効率も最大化されます。

■ 効率的な加工

最適な条件での使用により、EP-Cryo389は工具摩耗を抑え、加工効率も向上します。長期間にわたり安定した性能が実現されます。



**推奨倍率10~40倍で、複雑形状にも対応可能。
部品精度を高く保ちながら効率的な加工を実現します。**

推奨使用倍率



EP-Cryo389は円筒研削および内面研削において、10~40倍の幅広い倍率範囲を推奨しており、これにより異なる加工ニーズに対応可能です。

複雑形状への対応



複雑な形状の部品でも高精度での研削が可能です。これにより、様々な形状の部品でも確かな仕上がりが期待でき、幅広い加工対象をカバーします。

部品の精度管理



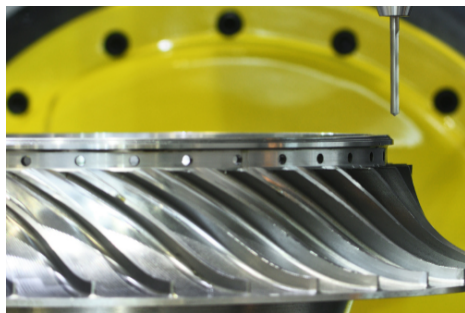
円筒研削および内面研削において、高い寸法精度を実現します。精度管理が容易で、品質の一貫性を保ちつつ生産性を高めることができます。

合金鋼と鋳物に対する高い研削精度と 安定した品質で信頼性のある加工を実現します。



適用材料

EP-Cryo389は合金鋼と鋳物を主な対象としており、これらの材質で優れた研削精度が確認されています。非鉄金属は対象外です。



加工精度

一般研削条件でもEP-Cryo389は寸法精度を極めて良好に保ち、安定した仕上がりを提供します。特に合金鋼の加工においてその効果が顕著です。

EP-Cryo389 は工程の安定性向上と工具摩耗抑制を通じて加工の効率と高精度を実現します。

工程安定性の向上

EP-Cryo389を使用する事により、摩擦や発熱を抑え、研削過程の安定性を大幅に向上させることが可能です。安定性が向上することで、品質が一貫して維持され、再作業が減少します。



工具摩耗の抑制

高耐久性を持つ材料で工具の摩耗を抑え、メンテナンス頻度を低減します。これにより、運用コストの削減やダウンタイムの短縮につながります。



高精度な加工

様々な研削プロセスにおける精度を高めることで、EP-Cryo389は複雑な形状の一貫した仕上がりを確保します。これが製品の全体的な信頼性に寄与します。



EP-Cryo389は豊富な実績を背景に合金鋼の研削における信頼性を確立し、生産性向上を支えます。

豊富な実績

EP-Cryo389は、合金鋼の研削加工で多くの成功事例を持ち、顧客の工程安定化に大きく貢献しています。これにより、信頼性を持った製品供給が可能となります。

生産性向上

効果的な使用により、加工時間の短縮と工具寿命の延長が実現できます。これは全体的な生産効率を向上させ、長期的なコスト削減にも寄与します。

連絡先情報

ジュラロン株式会社 本社工場

TEL: 06-6658-0301\FAX: 06-6658-3100

ホームページ: <https://www.duraron.co.jp>

